



渦巻き、零れて  
～集いで満たされる暮らし～

井澤研究室 土谷真子

### 目的

高齢者・子育て世代・子どもたちがそれぞれの生活を補い合い、支え合って暮らせる空間を提供する。

その空間を通じて各世代が抱える問題を改善するとともに、より住み良い街づくりに繋がる集合住宅の提案を行う。

### 設計背景

近年では、認知症や孤独死する高齢者と出産や子育てに不安を抱く子育て世代の増加の問題がある。またコロナウイルスの影響で人と人との関わりが希薄になってきているという点に着目した。

## 【対象地】

名古屋市衛生研究所跡地

所在：愛知県名古屋市瑞穂区萩山町1丁目25-2

## 【周辺施設】



- ・住宅が多い。
- ・気軽に行けるスーパーがない。
- ・学校や保育、幼稚園が多い。
- ・コンビニエンスストアがない。
- ・喫茶店やカフェが少ない。
- ・最寄り駅まで徒歩12分かかる。

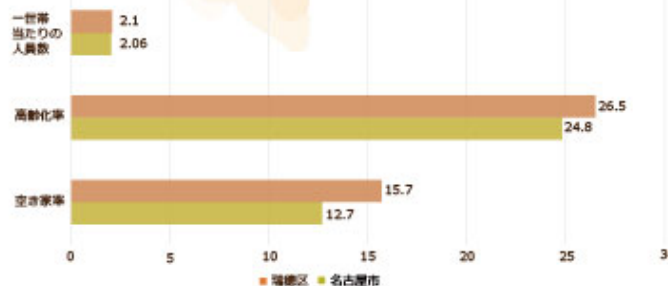
## 【敷地写真】



## 【調査方法】

### ①インターネットや資料による情報収集

インターネットや資料から、名古屋市の中で「高齢化率・子どもの人口・1世帯当たりの人員数・空き家率」に着目し、深刻性の高い地域を選定した。



②対象地となった瑞穂区汐路学区の以下の方々にインタビュー調査を行った。

- ・区政協力委員会委員長
- ・民生児童委員協議会会長
- ・民生児童委員協議会副会長
- ・民生児童委員協議会主任児童委員
- ・福祉協議会
- ・こすもす保育園園長



また、陽明小学校、汐路小学校と瑞穂区で2、3番目に人数の多い学校が近くにあるため、子どもが多いことが分かる。

## 【インタビュー内容】

- ・高齢者の主な活動
- ・地域ならではの問題
- ・交流の機会
- ・住人の特徴
- ・子どもたちのあそび場、あそび方
- ・親御さんの悩み事



西崎さん

まじめな方は多いですが地域活動に消極的な人が多くて今後の活動が不安です。きっかけがあれば…。



小田さん

目的がないと交流の場にはいきません。料理教室や生け花は人気でいつも満員ですよ。



岡本さん

お話し好きのご老人は多いです。いつも喫茶店で長い間おしゃべりしているのを知っています。



川本さん

子育て世代にとって、高齢の方々のような親の立場を経験している人の存在は安心します。逆に高齢者の方は子どもから元気をもらえるみたいですよ。



園長先生

子どもたちがのびのびと遊べる場所は少ないですね。特に広々としたスペースがあるといいと思います。

## 【地域課題】

### ①地域資源の少なさ

- ・公園や雨の日に遊べる場所が少なく、子どもたちの活動が限られてしまっている。
- ・商業施設や徒歩圏内のスーパーが少なく、手軽に買い物がしづらい。

### ②多世代交流の場と機会がない

- ・多世代間の交流の機会も場所もない。
- ・1人で充実した生活を送れる人が多く、人との交流が希薄になってしまっている。
- ・生活のすべてを自己完結できるということは、トラブルがあっても気がついてもらえず危険。

### ③地域活動の存続と繁栄

- ・②の交流の機会や地域住民との関りが希薄になっていることから、地域活動を受け継ぐ人が減少している。

## 【課題解決案】

### ①資源

- ・天候に左右されないあそび場の提供。
- ・敷地芝生計画。
- ・配給スペースの設置。

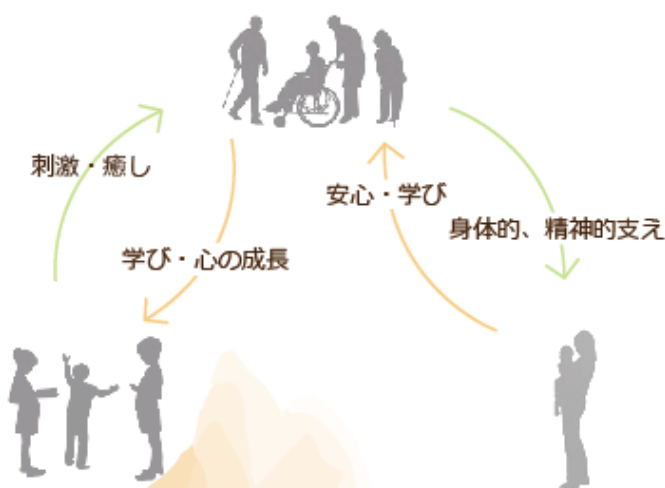
### ②交流

- ・中央広場の設置
- ・カフェの設置。
- ・共有キッチンの設置。

### ③地域活動

- ・散歩道の設置。
- ・フリースペースの設置。
- ・地域活動に対応できるスペースの確保。

## 【3つの世代が交わることで得られる効果】



## 【配置・形のダイアグラム】



### ①車の流れ

現地の交通ルールや通行傾向から、矢印のような人の流れが生まれることが分かった。山崎川沿いの道は道幅が狭くすれ違いが困難なため、交通量が少ない。



### ②人の流れ

黄色の矢印が示すように、山崎川沿いと対象地側の道には歩道が設置されているため歩行者が多い。



### ③対象地内の形

①と②から導出は対象地の西側から、歩行者は東側から対象地内にアクセスしやすいようにする。地域に溶け込み、巻き込んでいくというイメージを込めて両巻き型とする。

## 【配置・機能】

課題改善案の機能の配置図。

全体的に、地域の方々と住人が共有するスペースは様々な目的で集まった人々が自然と顔を合わせられるよう敷地中央に配置している。

色のない部分は居住スペースで、敷地の外側に集めることでプライバシーも確保し共有スペースとの差別化を図っている。

### 【共有キッチン】

地域で人気のある、料理教室や生け花などの文化的な活動ができる空間。

### 【フリースペース】

テーブルと椅子を設置し、気軽に立ち寄れる空間。自販機や雑誌を置き、体験スペースとして活用してもらおう。

### 【カフェ】

高層者が集う場所として人気のあるカフェを設置する。

### 【散歩道】

日頃から地域住民が散歩やランニングの通り道として利用することができる。

### 【芝生】

敷地に芝生を敷き詰め、安心して走り回ったり、寝転んだりできる。

### 【中央広場】

敷地の中央に設けた広場。住人も地域の人も集まることのできるため、自然と空間をシェアできる。

### 【配給スペース】

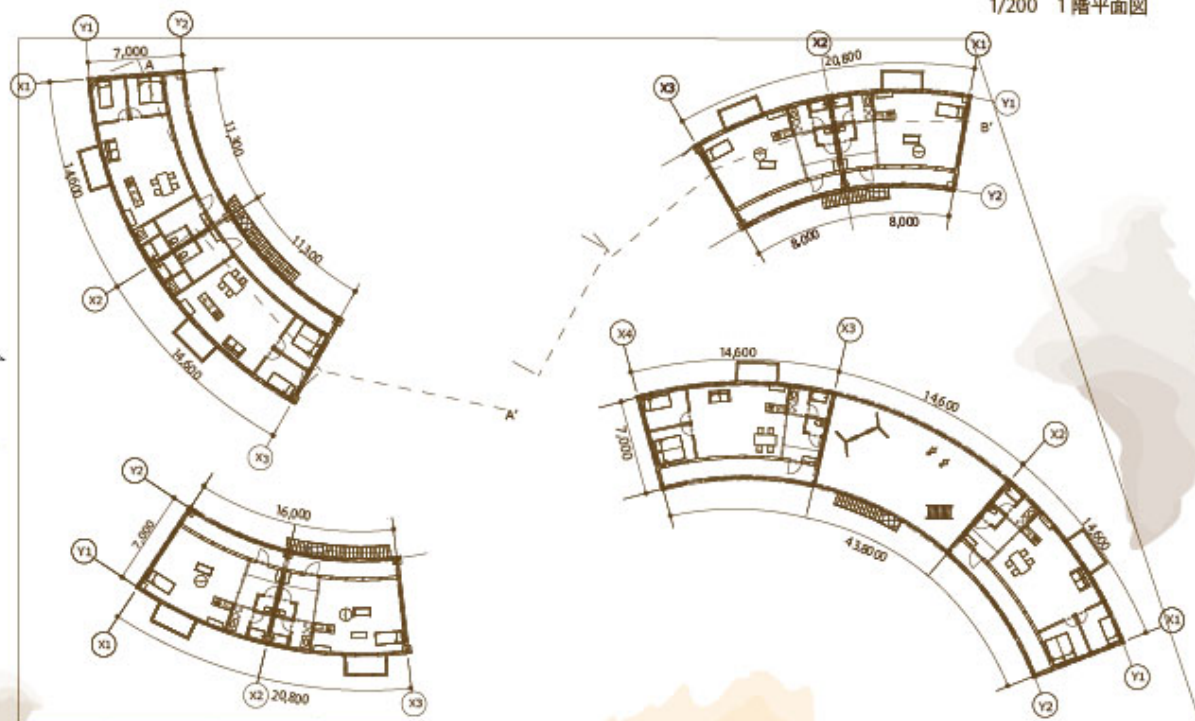
地域で行われている配給をスムーズに行うためのスペース。商品を運ぶ車両からそのまま建物内に入ることができる。

### 【あそび場】

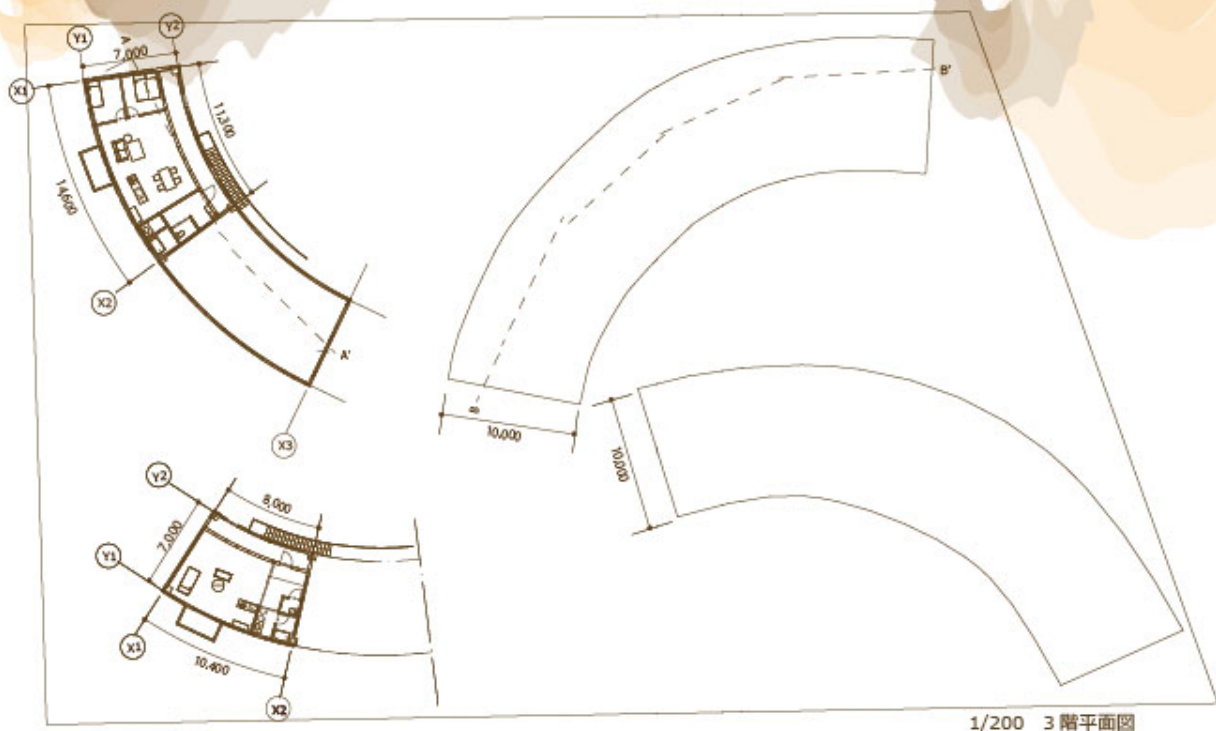
天候に左右されない屋根付きの空間。主に子どもたちのあそび場として活用してもらおう。



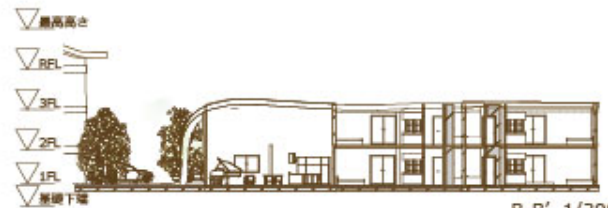
1/200 1階平面図



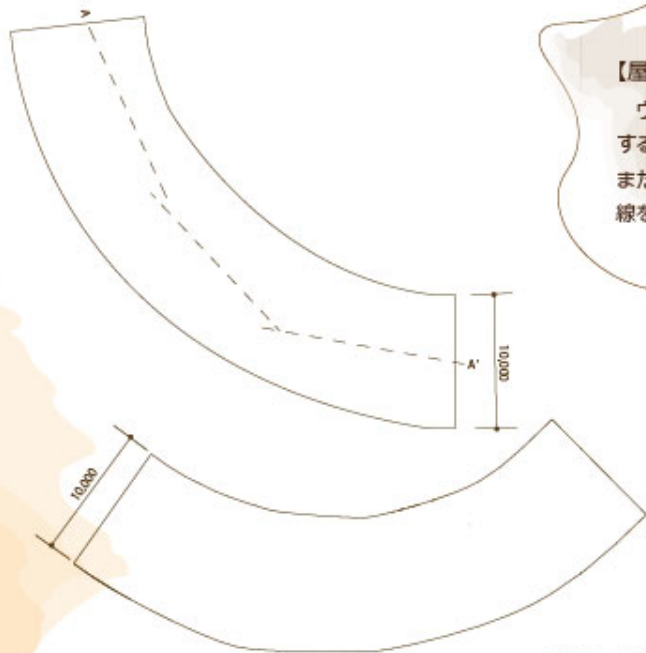
1/200 2階平面図



A-A' 1/300 断面図

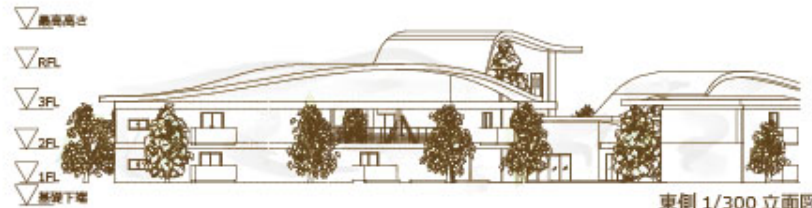


B-B' 1/300 断面図



【屋根の湾曲】

ウェーブの盛り上がった部分の壁をガラス張りにすることで、平らな屋根よりも多くの光を取り込む。また、建物自体にも特徴を持たせることで人々の視線を惹きつけ渦のように巻き込んでいくイメージ。



東側 1/300 立面図



南側 1/300 立面図



**【中央広場】**  
住人と地域の方が  
交わる曖昧な空間。  
多くの人と空間を  
共有できる。



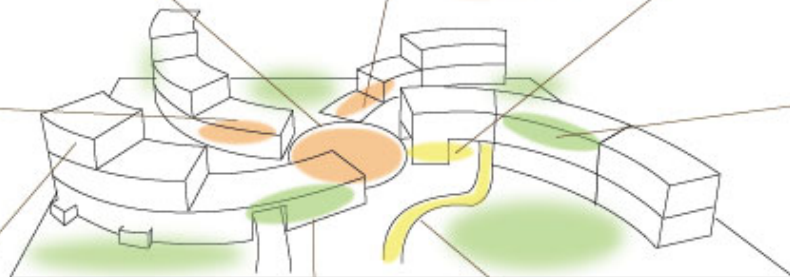
**【カフェ】**  
地域の高齢者の憩いの場であるカフェ  
を併設し、地域の方々との話し合いの  
場を提供する。



**【フリー休憩スペース】**  
散歩道を利用する人々の休憩スペース。雑誌や自販機、  
ベンチなどを設置し、滞在を促すスペース。



**【共有キッチン】**  
地域住民に人気の料理教室や生け花など様々な活動が  
できるスペース。



**【半屋外あそび場】**  
天候に左右されない子どもたち向けのあそび場。  
遊具が設置された芝生の空間になっている。



**【居住スペース】**  
車椅子の方でも生活しやすい間取りとした居住空間。  
単身向けの部屋と家族世帯向けの2種類がある。

**【配給スペース】**  
地域で行われている配給制度をより活性化させ、根付か  
せるためのスペース。車が入りやすい。



**【散歩道】**  
地域の人を子の集合住宅内に引き込む散歩道。  
また地域に馴染ませる役割を果たす。